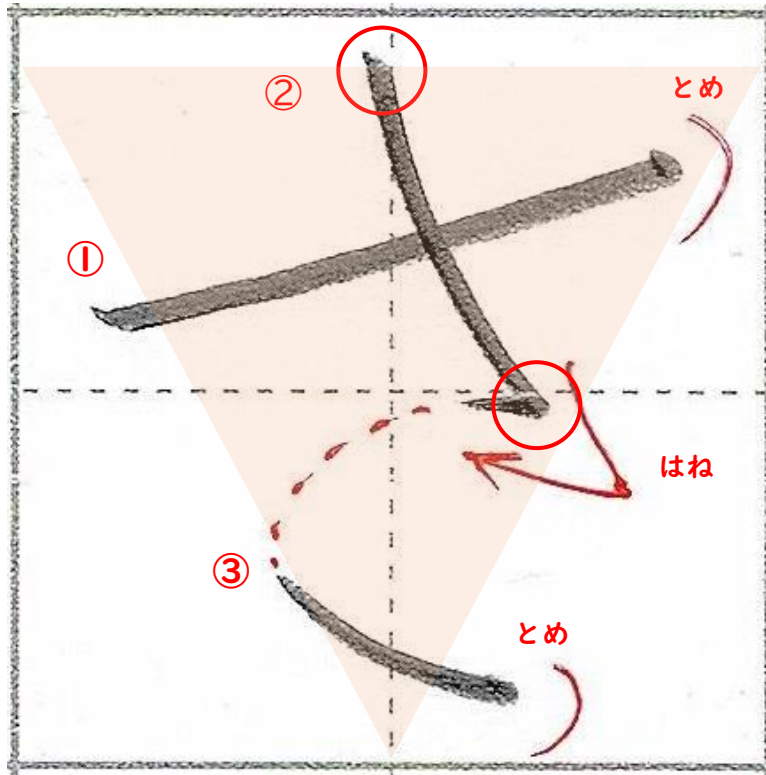
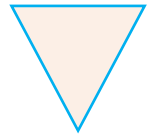


「さ」のポイント

●くずした字



●^{ぜんたいてき} ^{かたち} 全体的な形



ぎやくさんかくけい
逆三角形

○は、マスの
ちゆうしんせん
中心線とだいた
い重なるところ。
ここをめあてに、
じ ^{かたち}
字の形をとりま
しょう。

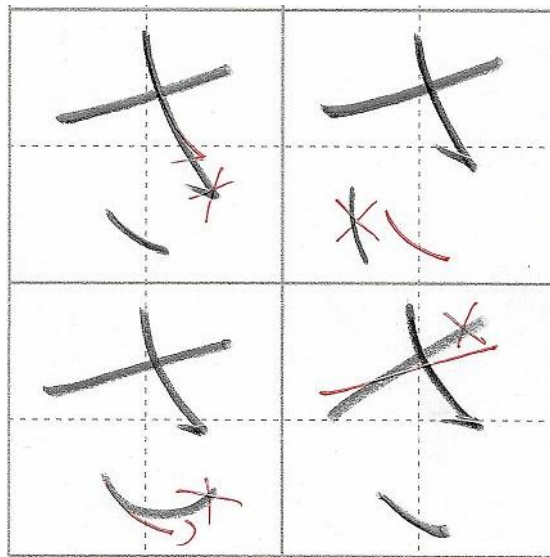
●^{もと} ^{かんじ} 元になった漢字

「左」



●こうならないように注意

◎2画目、^{かくめ} ^{じょうげ} 上下のまん
中あたりではねる。
◎3画目のとめ、^{かくめ} ^{うえ} 上
にむかない。

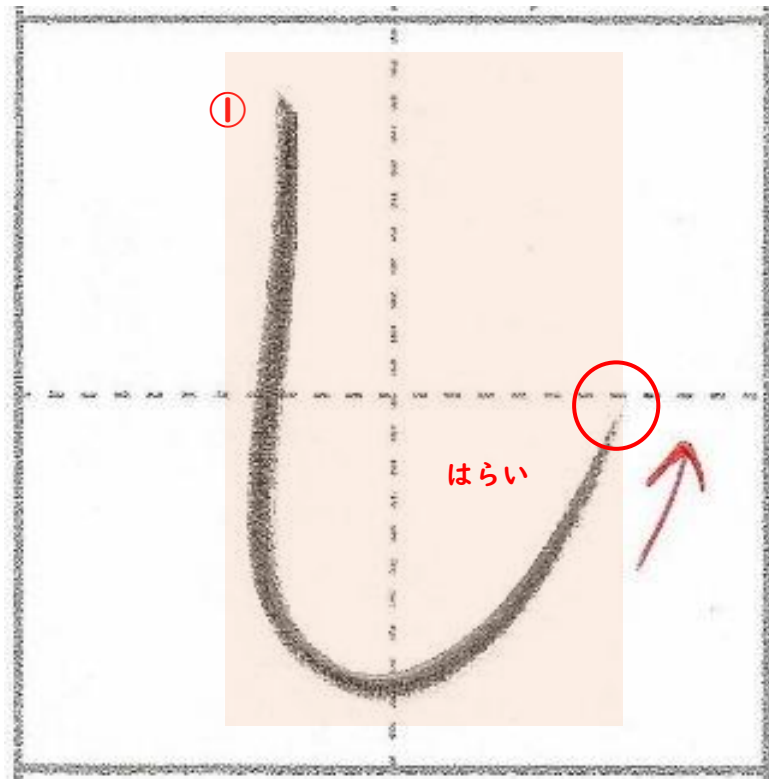


◎3画目の位置、
^{さゆう} ^{なかに}
左右のまん中に。

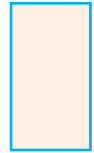
◎1画目、^{かくめ} ^{みぎあ}
右上がりしすぎない。

「し」のポイント

●くずした字



●全体的な形



たてなが ちょうほうけい
縦長の長方形

○は、マスの
ちゆうしんせん
中心線とだいた
いかさ
い重なるところ。
ここをめあてに、
し 字の形をとりま
しょう。

●元になった漢字

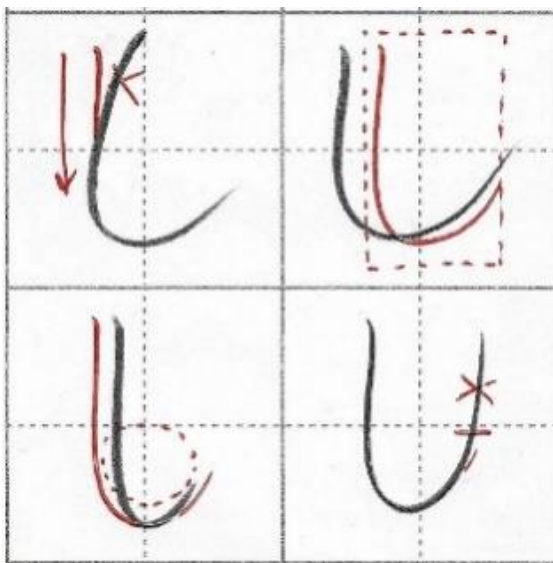
「之」



●こうならないように注意

ぐ下にむかう。

◎書き始めはまっす



うに。縦長に。

◎横に広がらないよ

た上に空間をつくる。

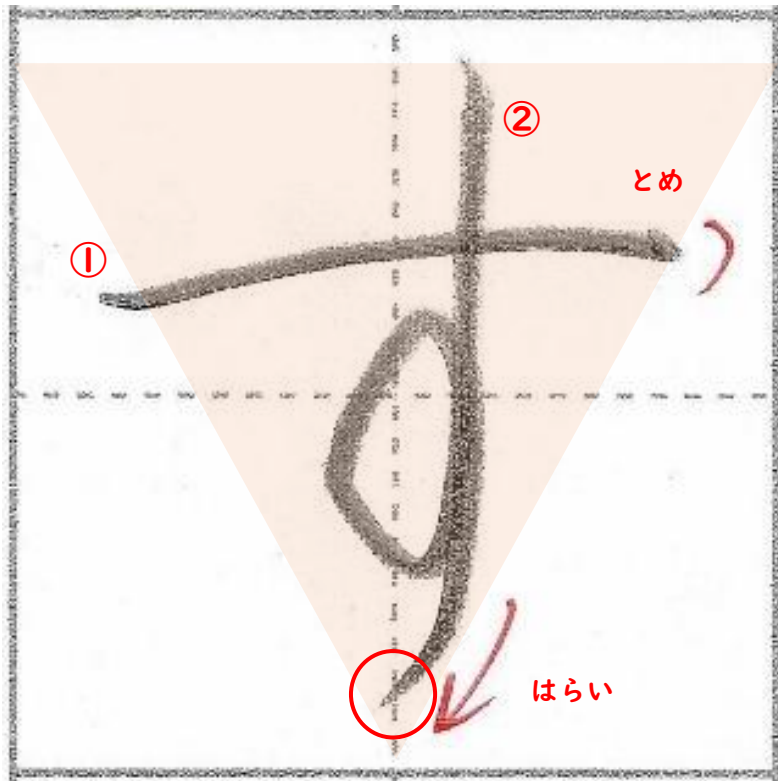
◎細くしすぎない。丸め

中あたりでおわる。

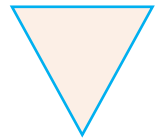
◎はらいは上下のまん

「す」のポイント

●くずした字



●^{ぜんたいてき} ^{かたち} 全体的な形

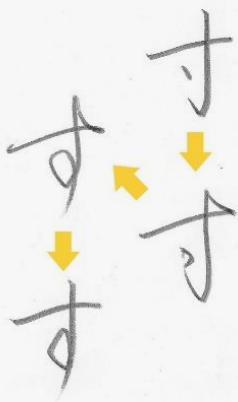


^{ぎやくさんかくけい} 逆三角形

○は、マスの
^{ちゆうしんせん} 中心線とだいた
い重なるところ。
ここをめあてに、
字の形をとりま
しょう。

●^{もと} ^{かんじ} 元になった漢字

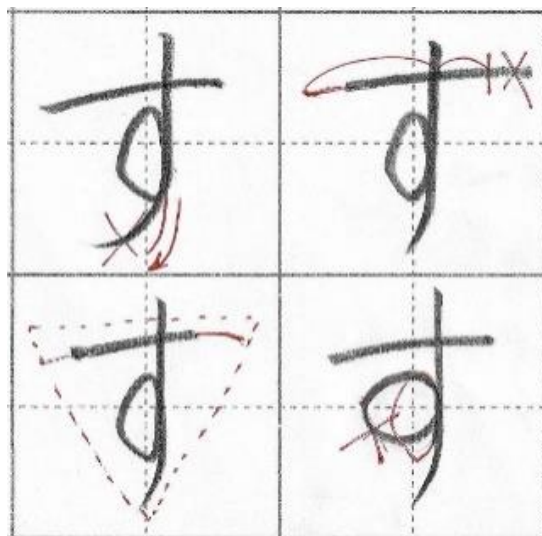
「寸」



●こうならないように注意

◎はらいは左右のまん中
あたりでおわる。

◎一画目の横画、長く、
逆三角形に。

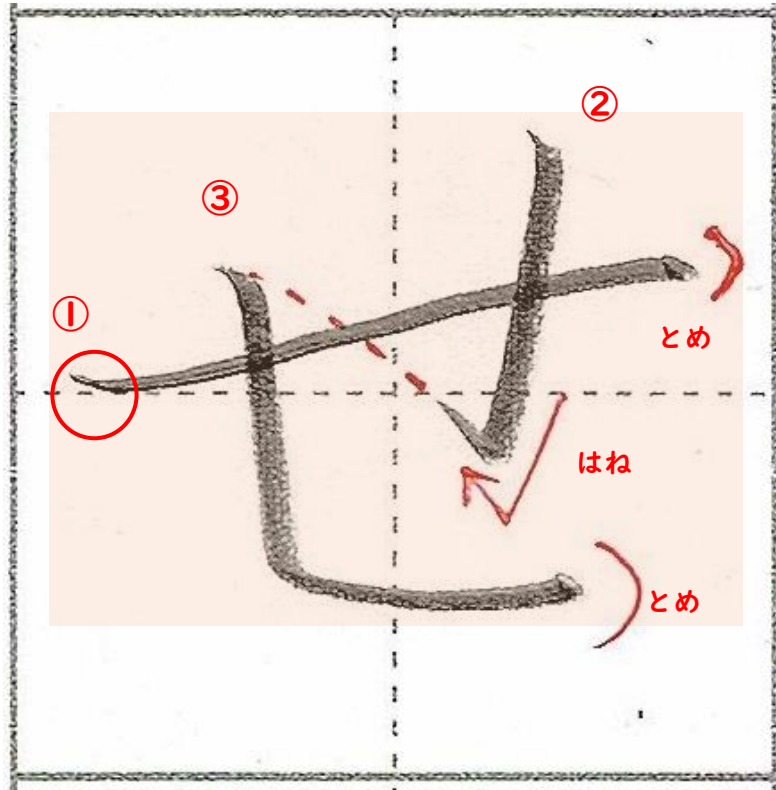


◎一画目の横線の右の方
を2画目が通る。

◎丸めるところ、まん丸で
はなく縦長のだ円に。

「世」のポイント

●くずした字



●^{ぜんたいてき} ^{かたち} 全体的な形



よこなが ^{ちようほうけい} 横長の長方形

○は、マスの
^{ちゆうしんせん} 中心線とだいた
い重なるところ。
ここをめめてに、
^じ ^{かたち} 字の形をとりま
しょう。

●^{もと} ^{かんじ} 元になった漢字

「世」



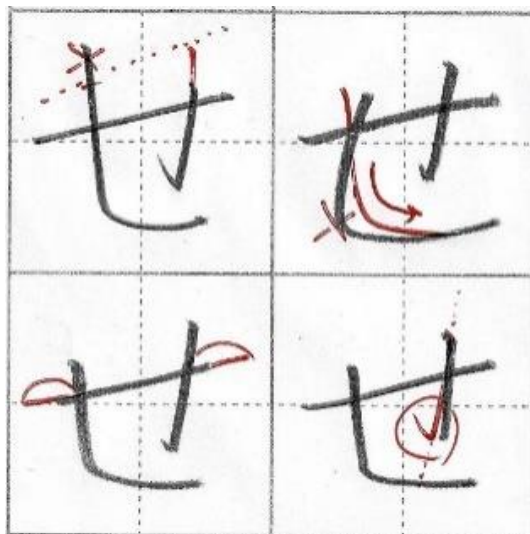
●こうならないように注意

◎3画目より高く。
^{かくめ} ^{たか}

◎2画目の書き始めは、
^{かくめ} ^{はじめ}

◎1画目は長く。
^{かくめ} ^{なが}

横はばを出す。
^{よこ} ^だ

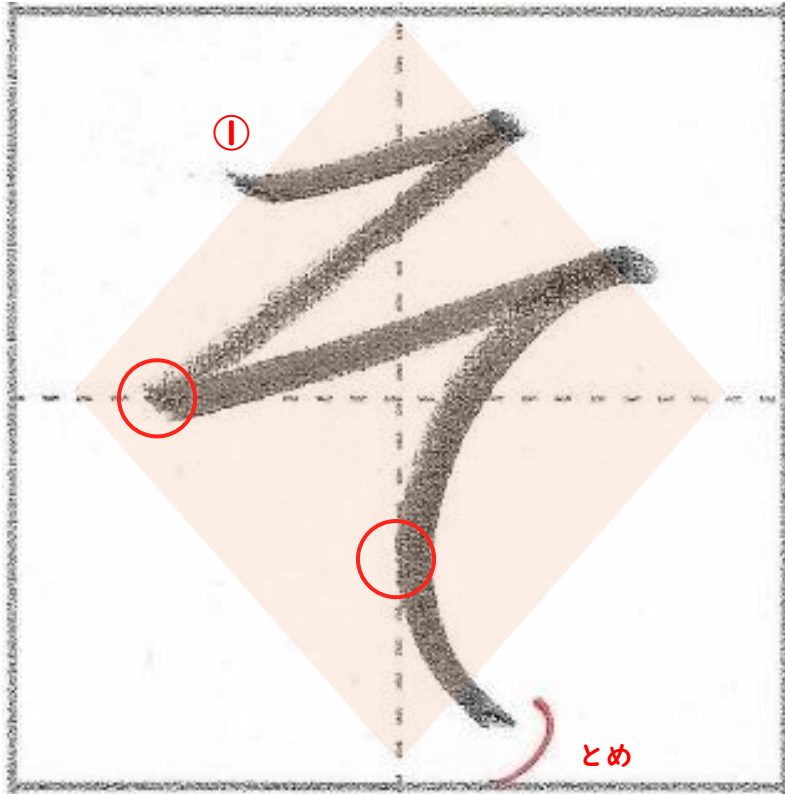


◎3画目、左にそら
^{かくめ} ^{ひだり}
ない。

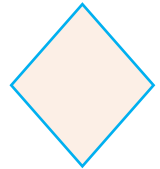
◎2画目は、はねる。3
^{かくめ} ^{はねる}
画目につながるように。

「そ」のポイント

●くずした字



●^{ぜんたいてき} ^{かたち} 全体的な形

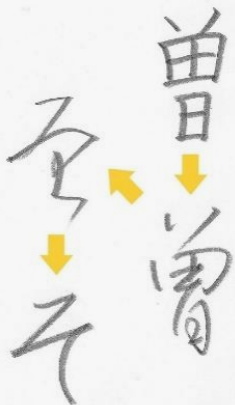


^{がた} ひし形

○は、マスの中心線とだいたい重なるところ。ここをめあてに、^じ ^{かたち} 字の形をとりましょう。

●^{もと} ^{かんじ} 元になった漢字

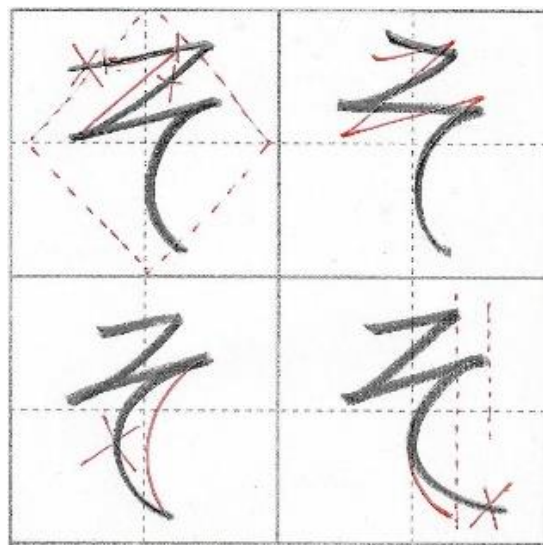
「曾」



●こうならないように注意

◎ ^{みぎのうえ} 右上におかう線は、
^{さいしょ} ^{みじか} 最初は短く、
^{つぎ} ^{なが} 次は長く。

◎ ^{さいご} 最後、
^{ひだり} 左にそりす
ぎない。



◎ ^{みぎさ} 右下がりにならな
いように。

◎ ^{さいご} 最後、
^{みぎ} 右にのぼし
すぎない。